令和６年度

学　校　要　覧

木部小学校　校歌

作詞　青木兼人
作曲　後藤忠雄

一

須郷田山を　まなかいに
仰ぎて立てる　学舎に
気高く豊けき　心もて
伸びよもろとも　山の子我等

二

木薗の春の　桜花
徳永城の　秋の月
古き郷土史に　照らされて
励めもろとも　里の子我等

三

石西文化の　源は
ここに発して　津和野川
清き流れを　掬みつつも
磨けもろとも　明日にそなえて

津和野町立木部小学校

〒699-5634　島根県鹿足郡津和野町中川 424 番地
ＴＥＬ　０８５６－７３－００１１
ＦＡＸ　０８５６－７３－００１８
E-MAIL　kibe-syo@tsuwano.net

【学校の沿革】

明治１８年　　簡易小学校を長福・中曽野・豊稼に設置す。此時豊稼は宿谷役場の所属なり
明治２５年　７月２５日　日第三簡易小学校（豊稼）を廃し第一簡易小学校（長福）に合併す
　　１１月　１日　簡易小学校を尋常小学校と改称し、長福・中曽野の二ヶ所に置く
明治２６年　４月　１日　豊稼に長福尋常小学校の分教場を設け直す
明治２７年　８月　１日　中曽野尋常小学校を新築す
明治３４年　９月１６日　中川尋常小学校を設立し同日開校す
明治３６年　９月２１日　長福・中曽野・中川の三尋常小学校を合併して木部村尋常小学校と改称し本校を大字中川 40 番地に創設し分教場を大字豊稼に置く
明治３９年　５月１４日　木部村立実業補習学校を附設す
明治４１年１１月２２日　本校舎を新築す
大正　４年１１月１６日　講堂を新築す
大正１１年　４月　７日　本校に高等小学校を併置し木部村尋常高等小学校と改称す
昭和　２年　３月３１日　豊稼分教場を廃止す　仍て尋常第４学年までは畑迫村内美尋常小学校に委託教授し尋常第５学年より本校に収容す
昭和１３年１２月　　講堂を改築す
昭和１６年　４月　１日　木部村国民学校と改称す
昭和２２年　４月　１日　木部村立木部小学校と改称す
昭和２８年　３月１７日　給食調理室竣工す　（瓦葺平屋建２２坪５合）
昭和３０年　１月１０日　町村合併（津和野町・小川村・畑迫村・木部村）により津和野町立木部小学校と改称す
昭和４２年　４月　１日　特殊学級を設置す
昭和５０年　６月　　木部小学校プール竣工
昭和５４年　８月２０日　校舎改築工事着工　鉄筋コンクリート造３階建　延面積１６９，３７９㎡
昭和５６年　２月１５日　屋内運動場完成 鉄骨造１部２階建
平成１３年　７月　　プール浄化装置取替
平成２７年４月～１０月　校舎棟耐震補強工事及び体育館改修工事
令和２年１１月～令和３年３月　校庭真砂土入替工事及び駐車場水路工事　（株）堀建設
令和３年１０月～令和４年３月　プール改修工事

【校区の概要】

（１）　地理的地勢的概要

島根県の最西部に位置し、山口線津和野駅より１６ｋｍの地点にある。当地域は、益田市、萩市、阿東町と山口県境に接し、本県最西点、東経１３１度４０分も当地域を通る。当地域は、本町の北部高原地域に位置し、面積３８．５㎢、住民の大部分は標高２００～３００ｍの地に住居する。また、地域のほぼ中央を津和野川の支流木部川が流れ、周囲は山地に囲まれている。昭和５１年度の統計によると、最大降雪４０ｃｍ、積雪日数８８日、最低気温－１８℃（２月１８日津和野土木資料）であり、寒冷地的な気候ということができる。

（２）　歴史的文化的概要

木部川の上流は、原始時代より先住民族の生活の存在を示すように、当長福地区より縄文文化の遺物が発掘されている。木部の地名を歴史的に考察すると、木部「紀部」であり、大化改新において、中央貴族「紀氏」の私有地であったと伝承されている。また、鎌倉時代に吉見氏が当地方の地頭職となり、館を木部に定め産業開発に力を入れた関係上、石西文化発祥の地と言われると共に吉見時代は当地方の中心地であった。津和野町は、江戸時代になり坂崎氏、亀井氏による藩政が行われ、藩政の重要課題として学問の奨励が行われた結果、日本の代表的文化人として、森鷗外、西周等多くの先人を出した町である。先人の中でも先哲、岡熊臣、福羽美静両先生の出生の地は、木部である。

令和６年度　津和野町立木部小学校　学校経営方針

【学校教育目標】
「ふるさとを愛し、心豊かでたくましい木部っ子の育成」

【めざす児童像】

【伝え合う子】	【支え合う子】	【たくましい子】
考えをもち対話をとおして解決する	自他の良さや苦手を認め合う	自ら伸ばし、高めようとする

【学校経営の重点】

チーム「木部」
～子どもも、大人も共に育つ学びの協働～

「木部っ子学びの協働プロジェクト」
～みんなで いっしょに ３プロ ぐん！～

- 教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
- 木部の持ち味を生かしたふるさと教育の充実
- 学ぶ意欲を高め、学び方を広げる学習活動の実践
- 一人ひとりを大切にした人権・同和教育の推進
- 体力向上・安全意識の高揚を図る教育の充実
- 自己決定を促し、実行力を高める生徒指導の充実

木部っ子

津和野町立木部小学校（学校運営協議会）

多様な価値観との出会い ……　地域（各種団体・組織）・保育園・家庭（PTA）　……多様な体験活動への参画

第２期津和野町教育ビジョン（令和6年度～令和 10 年度）
スローガン「学ぶ心を育て文化の薫り高いまちづくり」
めざす子ども像“大人になっても自ら学び続けるひと”
課題を見抜く力　対話する力　行動する力・創造する力

【経営の基盤】
- ■第２期津和野町教育ビジョンをもとに、一人ひとりの児童がもつ可能性を高める学校経営
- ■コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会でめざすところを共有し、連携・協働しながら教育活動の充実を図る学校経営
- ■人権意識や信頼しあう人間関係を基盤とし、安心して自分の可能性を発揮できる自主的・創造的な学校経営
- ■秩序とチームワーク、笑い声のあふれる明るい職場づくりによって、子ども、同僚、地域等に元気を与える学校経営